



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社電算システム

コード番号 3630 URL <http://www.densan-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 田中 靖哲

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 近藤 登

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	21,164	9.1	665	△21.6	682	△20.6	413	△17.5
26年12月期第3四半期	19,405	7.1	849	16.1	859	17.7	500	18.0

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 452百万円 (△14.6%) 26年12月期第3四半期 529百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	42.33	42.28
26年12月期第3四半期	51.50	51.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	30,098	7,670	25.1
26年12月期	27,350	7,678	27.7

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 7,565百万円 26年12月期 7,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	11.00	—	11.00	—
27年12月期	—	11.00	—		
27年12月期(予想)				12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	13.2	1,200	4.0	1,210	4.0	745	8.7	76.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	10,027,400 株	26年12月期	10,009,800 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	363,354 株	26年12月期	254,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	9,760,126 株	26年12月期3Q	9,717,652 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出企業の好調な業績などにより、景気は緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、中国をはじめ新興国の景気減速への警戒感等もあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念の下、当期をさらなる業容の拡大と成長を志向し行動を起こす年とし、経営計画の達成を目指してまいりました。

各セグメント別の概況は以下のとおりとなっております。

#### (情報サービス事業)

情報処理サービスにおいては、ギフト処理サービス、ネットワーク保守サービス、請求書作成代行などの売上が順調に推移し、また、ガーデンネットワーク株式会社を前第4四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めたことなどにより売上が伸びました。S I・ソフト開発、商品販売においては、GoogleAppsなどクラウド関連サービスや、オートオークション業務システム、L Pガス卸業向け基幹システム、地方公共団体向けの機器販売などの案件が順調に推移し売上は増加したものの、ソフト開発プロジェクトにて不採算案件が数件発生したことなどにより利益が減少となりました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は110億31百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は1億97百万円(前年同期比62.2%減)となりました。

#### (収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、地方自治体を含む新規取引先の獲得が順調に推移するとともに、既存取引先の通信販売業者やネットショップでの消費税増税後の反動の影響も一巡したことから、収納件数は増加いたしました。また、スーパーマーケットやドラッグストア等のチェーン店舗向けの収納窓口サービスの導入店舗数も順調に増加いたしました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は101億32百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は3億86百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は211億64百万円(前年同期比9.1%増)、利益においては、営業利益は6億65百万円(前年同期比21.6%減)、経常利益は6億82百万円(前年同期比20.6%減)、四半期純利益は4億13百万円(前年同期比17.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して27億48百万円増加し、300億98百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億50百万円、現金及び預金が2億63百万円減少したものの、金銭の信託が25億50百万円、前払費用が4億21百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して27億56百万円増加し、224億28百万円となりました。これは主に、その他流動負債が1億83百万円、未払法人税等が1億76百万円減少したものの、収納代行預り金が27億47百万円、賞与引当金が3億46百万円増加したことによるものであります。

なお、現金及び預金、金銭の信託並びに収納代行預り金は、収納代行サービス事業に係る預り金が含まれており、預り金の入出金タイミングの影響を受けたことにより増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して8百万円減少し、76億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億98百万円増加したものの、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」に伴う自己株式の取得により、自己株式が2億54百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年1月30日の「平成26年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,633,551	4,369,668
金銭の信託	13,208,629	15,758,875
受取手形及び売掛金	4,248,077	3,798,007
有価証券	—	30,000
商品	42,219	35,028
仕掛品	621,709	639,152
前払費用	139,020	560,787
繰延税金資産	71,468	134,089
その他	30,548	62,967
貸倒引当金	△958	△758
流動資産合計	22,994,267	25,387,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,290,977	1,345,565
土地	673,948	792,557
その他(純額)	697,308	689,293
有形固定資産合計	2,662,234	2,827,416
無形固定資産		
ソフトウェア	331,992	461,376
ソフトウェア仮勘定	32,923	92,323
その他	36,278	30,099
無形固定資産合計	401,194	583,799
投資その他の資産		
投資有価証券	945,584	963,031
繰延税金資産	6,848	6,779
差入保証金	314,452	301,677
その他	26,500	28,714
貸倒引当金	△582	△373
投資その他の資産合計	1,292,802	1,299,829
固定資産合計	4,356,231	4,711,045
資産合計	27,350,499	30,098,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,016,813	1,903,177
短期借入金	20,000	203,750
1年内返済予定の長期借入金	354,242	167,232
未払法人税等	283,685	106,995
収納代行預り金	14,993,079	17,740,532
賞与引当金	5,307	351,350
役員賞与引当金	1,000	24,485
受注損失引当金	—	87
株主優待引当金	47,795	—
その他	1,212,952	1,029,471
流動負債合計	18,934,876	21,527,081
固定負債		
長期借入金	279,794	407,600
繰延税金負債	44,817	54,002
役員退職慰労引当金	201,864	209,909
退職給付に係る負債	36,236	38,577
資産除去債務	11,980	12,092
その他	162,060	178,860
固定負債合計	736,754	901,041
負債合計	19,671,630	22,428,123
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,220,485	1,225,571
資本剰余金	920,341	925,427
利益剰余金	5,364,725	5,563,061
自己株式	△84,347	△338,963
株主資本合計	7,421,204	7,375,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,319	191,197
繰延ヘッジ損益	△7	△962
その他の包括利益累計額合計	155,312	190,235
少数株主持分	102,351	105,407
純資産合計	7,678,868	7,670,741
負債純資産合計	27,350,499	30,098,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,405,870	21,164,289
売上原価	16,078,061	17,807,465
売上総利益	3,327,809	3,356,824
販売費及び一般管理費	2,478,078	2,690,980
営業利益	849,730	665,843
営業外収益		
受取利息	2,557	2,379
受取配当金	5,017	9,106
持分法による投資利益	979	358
受取手数料	4,016	2,877
助成金収入	600	3,600
未払配当金除斥益	597	278
その他	662	1,256
営業外収益合計	14,429	19,857
営業外費用		
支払利息	2,592	2,200
為替差損	2,023	1,341
営業外費用合計	4,615	3,542
経常利益	859,544	682,158
税金等調整前四半期純利益	859,544	682,158
法人税、住民税及び事業税	407,846	324,431
法人税等調整額	△62,614	△59,367
法人税等合計	345,231	265,063
少数株主損益調整前四半期純利益	514,312	417,094
少数株主利益	13,818	3,956
四半期純利益	500,494	413,138

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	514,312	417,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,289	35,878
繰延ヘッジ損益	—	△955
その他の包括利益合計	15,289	34,923
四半期包括利益	529,601	452,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,783	448,061
少数株主に係る四半期包括利益	13,818	3,956



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,179,750	9,226,119	19,405,870	—	19,405,870
セグメント間の内部売上 高又は振替高	19,370	—	19,370	△19,370	—
計	10,199,121	9,226,119	19,425,241	△19,370	19,405,870
セグメント利益	521,707	360,020	881,727	△31,996	849,730

(注) 1. セグメント利益の調整額△31,996千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、ガーデンネットワーク株式会社の株式の取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、ガーデンネットワーク株式会社を連結の範囲に含めております。なお、当事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において13,415千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,031,412	10,132,877	21,164,289	—	21,164,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	38,364	165	38,529	△38,529	—
計	11,069,777	10,133,042	21,202,819	△38,529	21,164,289
セグメント利益	197,116	386,868	583,985	81,858	665,843

(注) 1. セグメント利益の調整額81,858千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。